**以下、▲印は回答任意。その他は該当する情報がある場合は回答必須（非該当の場合は空欄）。**

【連絡先】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 学部・学科・学年 |  |
| 氏名 |  | 学籍番号 |  |
| 電話番号 |  | LINE ID★ |  |
| メールアドレス[1]（慶應のもの） | | @keio.jp | |
| メールアドレス[2]（最も見るもの）▲ | |  | |

【確認事項1】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属（公認学生団体） |  |
| 所属（その他団体）▲ |  |
| A.兼ねる予定の他学部・他学科ゼミ |  |
| B.2022年度以降の留学・休学予定 |  |
| C.大学院進学希望・予定 |  |

【確認事項2】**笠井担当科目の受講状況**

|  |
| --- |
| 受講した科目名： |

【志望理由】※本ページ内に収まる分量にすること。文字サイズ・行間は変更しないこと。

|  |
| --- |
|  |

―――――この行が1ページ目に収まるようにすること―――――

**本ページの課題は「研究計画を立てる基礎的能力」を問うためのものであり、進捗状況や水準を問うものではない。入ゼミ後にまったく異なる研究を行って良い。ただし、面接では本課題についても問う。**

【卒業論文研究計画概要】

※**各枠の高さは変えても良い**が、全体として本ページ以内に収まるようにすること。

※枠（行）は減らしてはならないが、適宜、増やしても良い（項目名は自分で付けること）

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ（仮題目） |  |
| キーワード（5つ以内） |  |
| 研究の背景  （個人的／社会的／学術的） |  |
| 先行研究（書誌情報だけで良い。5件程度） | 1.  2.  3.  4.  5. |
| 研究の目的（「～を明らかにすること」という記述で。） |  |
| 研究対象（場所） |  |
| 研究対象の特徴 |  |
| 研究の方法  （特に調査手法を詳述） |  |
| 研究の意義  （個人的／社会的／学術的） |  |
| 期待される成果 |  |

―――――この行が2ページ目に収まるようにすること―――――

―――――この行が3ページ目先頭になるように調整すること―――――

**本ページ以降の課題は「文献を読み適切に理解・要約した上で自身の意見を述べられるか」を問うものである。なお、面接では本ページ以降の課題の内容、および、選択した文献の内容について問う。**

【書評】

　次の文献のうち1冊を選び、通読した上で、3,500字～4,000字の書評を書いてください。

　参考文献を用いた場合、その一覧は文字数に含めず＜参考文献＞枠に書誌情報を列記してください。

＜1．文献の選択＞

　選択した文献の左列に「○」を入力してください。選択は1冊だけです。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 武田尚子（2019）『近代東京の地政学：青山・渋谷・表参道の開発と軍用地』吉川弘文館 |
|  | 牧野修也編著（2021）『変貌する祭礼と担いのしくみ』学文社 |
|  | 橋本和孝ほか編著（2021）『コミュニティ思想と社会理論』東信堂 |
|  | 徳田剛ほか編著（2019）『地方発 外国人住民との地域づくり』晃洋書房 |
|  | 岩本通弥ほか編著（2021）『民俗学の思考法』慶應義塾大学出版会 |

※どの文献を選んだか自体は、採点に影響を与えない。

＜2．本文＞（約　　字）←本文入力後にWord機能を用いてカウントし、転記すること。

＜3．参考文献＞※用いた場合のみ。

|  |
| --- |
|  |